			+ 11%	, 20	牛反	尹 /カ尹:	未計画と	<u> </u>				
No				務図	書館運営事業					所 属	部教育部	. A-h
	4	政策名	事業	百	きあうまちづくり	1				所属 課長	課 国分図書	
政領		施策名	0 4		geoのでまら <i>しい</i> 機会の充実)						
体系	Ŕ-		0 1		環境で(り					電話番	. ,	
			会計			事業	事業名		ا ۸ در		-J -O-0111	
	予	算科目	一般	1 0	0 6 0 8 1	159015	<u> </u>	業 公社紹	一 法令 湯	霧島市立図書館 司条例施行規則		里に関する条例
	_)方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	間
		2図書館、5図料の提供 117			れている。 三等の図書館活動で	を行い 市民の制	数義と文化の店	ı ト友F	図スための学型	! 理情を整備 ┃ □] 単年度のみ	
		た、図書館施				5] 0 1/ 10 EC024	XRCXIONE	1 — C E	4.000十日		7 単年度繰返	
		資料の閲覧、貸 冊数 5冊以内			7ァレンスサービス、 閏 15日以内	リクエストサーヒ	、、相互貸借、	複写	サービス等)			S 33 年度~)
'貝L	ЦΠ	ᄧᅑᄁᄪᅜᄽ		貝山州區	10日以内						」期間限定複数	·
										[↳(年度	~ 年度)
		状把握の部(K1#								
		務事業の目 段(主な活動		旨標					活動均太	票(事務事業の活動	計量を主才比極)	
		支(エな/百勤)		こ行った	主な活動)				/白宝//7日代	京(事務事業の店) 名称	即里で衣り拍标)	単位
		業の概要と同		-,,,,,,					ア入館者数			
									プ 八昭 日女	×		人
	_			±1—1					イ蔵書冊数	数		m
		 度計画(215 と同様	丰度に	こ計画し	ている主な活動])		7				
Bu +	一.								ウ			
2	ব	象(誰、何を)	対象は	こしてい	るのか) *人や	自然資源等			対象指標	票(対象の大きさを	表す指標)	
市民	;(7	市内に住所を有			に通勤、通学する					名称		単位
図書	貿	料						\Rightarrow	ア人口		回事次则	
									イ 適切に動	隆理・保存すべき	図書質科	₩
Ī	意[図(この事業	によっ	って、対	象をどう変える(のか)				票(対象における意	図の達成度を表す	す指標)
欲し	ل ۱ /	情報を市民が行	得られ	る						名称		単位
凶書	筫	料か週切に係	仔'秘	き残され、	利用することができ	さる		\Rightarrow		枚(移動図書館分表を)の年間登		人 冊 / 年
								,		、あたりの年間貸 理・保存されている		m/+
4	結	果(どんな結	果に	結び付け	ナるのか)					と指標(結果の達成		,,,
地区	ات	合った学習を	行う環	境が整う						名称		単位
								\Rightarrow	,	の学習を行う環境が整っている	3と考えている市民の割合	%
								,	イ ウ			
(2)	総	事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
	<u> </u>	の推り			(実績)	(実績)	(実績)	_	(見込)	(見込)	(見込)	
		財 国庫支出 都道府県3		千円				-				
1	事業	脚 地方	債	千円								
投置	卡	<u>+</u> □ (())		千円		=		Ţ	=4.00:		== 000	
λ	1	一放只	<u>が線</u> (A)	千円	57,699 57,699	54,054 54,054	55,00 55,00		51,394 51,394	55,000 55,000	55,000 55,000	
量-	1	尹未貝미	(A)	113	37,099	34,034	33,00	,0	31,334	33,000	33,000	
	Ĺ											
	L	- タルコスト(A)	(+ (D)	千円	E7 000	E4.0E4	55,00)G	E4 004	55,000	55,000	
	- "	- 7 / / A / (A)) + (D) ア		57,699 273,034	54,054 271,604	280,63		51,394 282,500	283,000	283,500	
	ì	舌動指標	7	m	349,742	360,773	371,71		380,000	390,000	400,000	
			ウ	1	107.01	10		Ţ	100.00-	422.25	162.22	
	ب	対象指標	ア		127,615 349,742	127,773 360,773	127,45 371,71		128,383 380,000	128,640 390,000	128,868 400,000	
)	いるのでは	イウ		343,142	300,773	3/1,/	٥	300,000	390,000	400,000	
			ア	' 人	107,820	110,539	111,51	4	112,500	113,500	114,500	
	J	 成果指標	1	冊/年		3.3		.4	3.4	3.5	3.5	
			ウア		100 29.4	100 26.4	10 31		100 31	100 31	100 32	
_	上ſ	位成果指標	1		25.4	20.4	31		JI	31	32	
			ウ	,								
(3)	\$	務事業の環境	境変値	化·住民	意見等							

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和33年に市民の学習環境を充実させるため、国分市立図書館が設置された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?個人一人ひとりの情報ニーズが多様化する中、図書館等の本の貸出の利便性や蔵書の充実を図る必要がある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 利用者から図書館の蔵書を増やしてほしい、また図書のネットワーク等の整備を行い、市内全域において本の貸出の簡素化を図ってほしいとの要望がある。図 書資料の汚損、破損等の防止対策をとるようにと議会からの意見がある。

- 1枚目

	事務事業名	図書館運営事	 業	所属部	教育部	所属課	国分図書館			
2	評価の部(SEE) > 政策体系との書		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【野	は途中評価 里由) ラ		[いる【理由】	₽			
目		、? 意図すること		多種多様な図書資料を提供、収集、整理、保存等を行うことによって、市民の教養と文化の向上を図るための 学習環境整備に結びついている。						
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある 【理由】 □ 妥当である 【理由】 □							
評	なぜこの事業を市(呼ばならないのか?税 達成する目的か?	町)が行わなけれ 金を投入して、	図書館は、市民の教養と文化 業である。	どの向上を図	るための学習支援	爰を行う重要な機	関であるので、市が実施すべき事			
価	対象・意図の姿	妥当性	□見直し余地がある【B	里由】 🖜	☑ 適切である	(理由) 🤝				
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		図書館を利用できる市民と図 は妥当である。	書資料が対	象であり、利用者の	への充実した情報	服提供や利便性の向上を図ること			
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理	由) 🎝	□ 向上余地か	がない【理由】	∌			
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	市内の他の図書館(室)との類ができるようになると思われる		ーク化を図ることに	より、市民がより	利用しやすい環境を提供すること			
有	廃止・休止の原	は果への影響	□影響無 【理由】 🕏		☑ 影響有【る	その内容】 🦘				
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		市民が、図書資料を利用して	、情報を得る	ることができなくなる	3.				
価	類似事業との	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	体的な手段 ,	事務事業)					
	可能性 目的を達成するには NAMに方法はない		⇒ □ 統廃合できる ¬ > □	連携できる	ふ ラ	を合できない 🕤	□連携できない 🦠			
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに。	か?類似事業と	他事務事業及び類似事業が	ない。						
	が期待できるか?	A Dil	▼他に手段がない【理師		Web-8 A til 4	***************************************				
	事業費の削減		□削減余地がある【理	田) 🞝	▶ 削減余地力	がない 【理由】	⊅			
効率	の協力など)		現在の運営を維持し、市民の)多種多様な	要望に応えるため)、事業費の削減	の余地はない。			
性評	人件費(延べ) 減余地	美務時間)の削	▶ 削減余地がある 【理	山力	□ 削減余地力	がない 【理由】	₽			
	やり方を工夫して延	見を下げずにより や委託でできな	各事務内容を詳細に検討す 間の短縮を図れる可能性はで ただし、勤務のローテーション	ある 。			N部分改善することにより、業務時 である。			
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある [野	里由] 🥏	☑ 公平·公正	である【理由】	D			
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	図書館はすべての市民が利 図書館法第17条の規定によなっているので、受益者負担	〕、入館料そ			^なる対価をも徴収できないことに			
	評価結果の総括。 1次評価者として		(次年度計画と予算への原		l) (ま 辰り返り、 反省点	旦当課長記入村 i)				
	目的妥当性 有効性 効率性 公平性	■ 適切■ 適切■ 適切	□ 見直し余地あり ■ 電算内の	システムの多	を定した稼動により (室)との電算ネット	、効率的で円滑	な事業執行ができている。 今後市 ことにより、 利用者サービスの向上			
<	(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・複数選択可									
	,		一ク化を図ることにより、利用者		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		成維果持低下			
現			すべき課題(壁)とその解決 は設計が古く、全図書館(室)		難しいため、全図割	書館(室)に統一	的な新規電算システムの導入が必			

		半成	20	年度	争纷争。	長評価ン-	<u> </u>			1	<u> </u>	
No.			務 図	書館読書推進事	業						部 教育部	
		事業	白								課 国分図書	
政策				きあうまちづくり							名 木佐木	
体系		5	学習機	会の充実						所属G(係	(主) 管理図書	グループ
件刀	基本事業名(2	学習活	動の推進						電話番	号 45-5111	
		会計	款	項目	事業	事業名		法令	·図書館	官法	•	
	予算科目 -	一般	1 0	0 6 0 8 15	59010	自主事業		根拠]の推進に関す	
事交	東米の柳西/目	3 / * 6/	5 +> +> 11	子 壬肟 钤伽	世界历史治	85左连事类1-	<u>+ △ /·</u>			図書館の設置及で	び管理に関する条例	
				方、手順、詳細。						への詰 □	事業期 単年度のみ	间
				イアの育成を図る					CULS	ילפולט י	単午反のの	
	だでも、これがに 単行事】			17 07 13 12 12 13 1	- C.ICO: X	71123771122					単年度繰返	
				しの部屋、緑陰読					長教室、た	いらくり絵		S 33 年度~)
本教	室、植物名付ける	会、司	書研修名	会、学校司書と読書	書ボランティアと	の交流会、おは	はなし	王国等			→ (] 期間限定複数	
1 E	見状把握の部(1	00)								_	V +1X	+ <i>i</i> 又)
	事務事業の目的		標									
	F段(主な活動)							活動	旨標(事	務事業の活動	加量を表す指標)	
	年度実績(20年		行った	主な活動)						名称		単位
事務	事業の概要と同様	羕						ア行事の	の開催に	1. 迷ケ		
								7 113	ノ肝圧に	487		П
							\vdash	1				
		度に	計画し	ている主な活動)			\Rightarrow	'				
前年	度と同様							ゥ				
								-				
		象に	してい	るのか) * 人や自	目然資源等			対象:	旨標(対象	象の大きさを表	長す指標)	22 /2
市民							_	ア人口		名称		単位
							\Rightarrow	ア 人口 イ				人
								ウ				
Ę	意図(この事業)	こよっ	て、対象	象をどう変えるの	か)			_	旨標(対	象における意	図の達成度を表	す指標)
	るだけ多くの市民				,					名称		単位
								ア読書	こ興味を	持った参加	l者数	人
							,	1				
,	+== / 15 / +>/+	- I- /-	+ 7 1 /	17040				ウーク	- co +k+=	: // 	·	
	<mark>吉果(どんな結</mark> 男 のテーマに沿った							<u> </u>	米拍信	<u>(結果の達成</u> 名称	(度を表す指標)	単位
	0)) (10/11/11	- 7 🗀	ПЖДЛ	10,0400				ア学習活動を行わ	ない理由として、自身		ないことをあげている市民の割合	<u> </u>
							\Rightarrow	イ 学習活動を行	うわない理由とし	て、時期や時間が合わない	ことをあげている市民の割合	%
								ウ				
(2) \$	総事業費·指標:		単位	18年度	19年度	20年度		21年度		22年度	23年度	
<u> </u>	の推	移		(実績)	(実績)	(実績)	_	(見込)		(見込)	(見込)	
	国庫支出		千円									
틬	削冰 ルーク		千円				-					
投費	大		千円									
投資	一般財	源	千円	1,242	1,083	757	,	78	38	795	800	
八 量 		(A)	千円	1,242	1,083	757	_		38	795	800	
里												
1 L		- (D)	1m	4.040	1.000	75-	,	7.	00	705	000	
\vdash	トータルコスト(A)	+ (B) ア	千円	1,242 279	1,083 299	757 299			0	795 310	800 310	
1	活動指標	1	티	213	233	298	+	3	0	310	310	
1	, H = 1/1 H . 1/2	ウ					-		_			
		ア	人	127,615	127,773	127,450		128,38	33	128,640	128,868	
	対象指標	1		,	, -	, , , , , ,		-,		,	-,	
		ウ										
1		ア	人	8,761	9,402	9,901		10,50	00	10,500	10,500	
	成果指標	1					\bot					
<u> </u>		ウマ	0/4	10.7	10.1	440	,		1	44	10	
1	上位成果指標	アイ	% %	12.7 17.9	10.1 17.5	14.8 24.6			15	11 14	10 13	
1 -	これが大ります。	コウ	70	11.5	17.0	24.0	+		-	17	13	
(3) 📱	事務事業の環境	•	公住民:	意見等					1			
	の事務事業を				うほじしかが	フルキーで目もハナ・	h +	π ±1.2				

るくの事務事業を開始したさっかけば何かくいつ頃とんな経緯で開始されたのか? 多くの市民に読書に興味をもってもらい、学習活動を推進するため、昭和33年に図書館設置とともに開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 紙媒体の情報よりインターネットなどの新たなメディアを通じた情報の取得が重要視されているが、やはり幼少時期から絵本や児童書に接することが見直されている。また、親子読書活動など本を通した心のふれあいが、現代社会の中で重要視されてきている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? ブックスタートなど乳幼児期から本に接することの重要性が、議会でも取り上げられている。

	事務事業名	図書館読書推		所属部		所属課	国分図書館		
2	評価の部(SEE) [*] 政策体系との <mark>*</mark>		価、ただし複数年度事業は 見直し余地がある 【理	途中評価 由 う	▼ 結びついている	【理由】	-		
		い?意図すること	多様な読書行事等への参加を への読み聞かせ等を行う読書				への興味を興し、また、子どもたち かの推進に結びついている。		
的妥	公共関与の女		☑ 見直し余地がある 【理	曲】与	☑ 妥当である 【理	由)之			
評	なぜこの事業を市(E ばならないのか?税 達成する目的か?	町)が行わなけれ 記金を投入して、	図書館法及び子どもの読書活 が定められている。	動の推進は	に関する法律により、読書	書普及及び	ぶ読書推進を地方自治体が行うこと		
価	対象・意図の姿	妥当性	□見直し余地がある【理	曲)之	☑ 適切である 【理	即之			
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市民を対象に読書推進活動を行うことは妥当である。						
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】	₽		
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	読み聞かせ等を行って〈れるボランティアが活動できる場をもっと提供できるように工夫することで成果の向上が期待できる。						
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 👽		▼ 影響有 【その内	容] 🤼			
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		は 読書推進事業を廃止・休止した。	た場合、読	書離れが進み、教育と文	化の向上	に支障が出て〈る恐れがある。		
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには以外他に方法はない		□ 統廃合できる 🕤 🔽	連携できる	5 🦜 📗 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕏		
	との統廃合ができるの連携を図ることに	か?類似事業と	他事務事業及び類似事業がな	⊋l 1。					
	が期待できるか?		☑ 他に手段がない【理由	1 🚁					
	事業費の削減		■ 削減余地がある 【理由	∃] ⊅	▼ 削減余地がない	【理由】	→		
効率	成果を下げずに事勢いか?(仕様や工法の協力など)			金、事務用	品等の消耗品費、印刷	製本費で	あり、これ以上の削減は厳しい。		
性	人件費(延べ業 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	▶ 削減余地がない	【理由】	₽		
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	現在もボランティアの協力を得	て、事業を	実施している状況である	5.			
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある 【理	画る	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽		
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	すべての市民を対象としている	るので、公平	^z である。				
			(次年度計画と予算への反			果長記入			
(1)	1次評価者として 目的妥当性	の評価結果 ☑ 適切	□ 見直し余地あり 🔍		辰り返り、反省点)				
	有効性 効率性	□ 適切 □ 適切	度から 見事し合地もの	実施したこ	ブックスタートは、保護者:	が子どもの	れ成果をあげている。中でもH19年 幼い時期での絵本の大切さを知		
	公平性 公平性		□ 見直∪宗地あり り、ボ: □ 見直し余地あり	ランティアに	よる「おはなしの部屋」(の絵本の語	たみ聞かせの利用者が増えている。 		
(3)	今後の事業の方[廃止		案)・・・複数選択可)やり方改善(有効性改善)	□現≭	犬維持		改革・改善による期待成果 隆止・休止の場合は記入不要)		
原止 休止 ▼ 事業のやり方改善(有効性改善) 現状維持 (廃止・休止の場合は記入 目的再設定 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(公平性改善)									
	み聞かせボランティア 内の他の図書館(室)	上 成維 井 低 下							
			すべき課題(壁)とその解決 髻推進事業を役割分担し、それ		 ぱの特性を活かし連携を	 図る。			
دا،	199日四(土)		ョュルペテネ C (X ロ) / J コロ 、 C 1 6	C 1 0075	~~ 131± €/H/J UÆJB€	⊢ 1 ∀ 0			

		ম	₽成	20	年度	事務事	業評価シ	-				
	lo.	Ī	F	務設	助図書館運営事	±₩				所 属	部 教育部	
LIN	10.	1	事業	名	即凶音店建品事	*未				所 属	課国分図書	館
πh	策一				きあうまちづくり)				課長		
	系 -	施策名 0	5		会の充実					所属G		グループ
PŦ	·//\	基本事業名 0			境づくり					電話	昏号 45-5111	
	名官	<u> 2</u> 算科目	<u>計</u> -般	款 1 0		事業 59015	事業名管理運営事	苯	一一 広マー 垂	書館法 皇市立図書館	館の設置及び管理	甲に関する冬例
									·同ź	条例施行規則	制	主に対する赤川
					方、手順、詳細						事業期	間
					団地、小学校等 の学習環境を整		を実施するこ	とによ	り、凶書資料の提	供を行い、	□ 単年度のみ	
· 述	《回筐	所 75箇所	ى ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	_ E 0 / C v.	700 于自城况已正	EMH 9 00					☑ 単年度繰返	
		所 19箇所	54211	د ماد کارانا	ユ テン							S 43 年度~)
	・貸出冊数 10冊(本館貸出と合わせて)・貸出期間 1ヶ月以内(次回巡回日まで)									□ 期間限定複数		
										\perp	┗(年度	~ 年度
		代把握の部(D B事業の目的		神								
('		カースの日間 日(主な活動)	C1E	1177					活動指標	事務事業の流	5動量を表す指標)	
		度実績(20年)		行った	主な活動)					名称		単位
事	務事	業の概要と同様	ξ						ア巡回箇所	数		箇所
2	21年	度計画(21年)	度に	計画し	ている主な活動	1)		\Rightarrow	イ 配本箇所領	数		箇所
前	年度と	:同様						,	ウ			
	1	· (+A /= + 1.1	_		704) 4.1.15							
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 対象指標(対象の大きさを表す指 市民(市内に住所を有する者、市内に通勤、通学する者) 名称									を表す指標)	単位		
'	20(11)	Подись	, ,	H(1913		,		\Rightarrow	ア人口	Hin		人
	' 1											
ウ												
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 名称 単										89 拍標) 単位		
	ア 貸出者数(移動図書館分のみ)									人		
								,	イ 貸出冊数(移動図書館	(分のみ)	₩
	結集	具(どんな結果	上に名	きび付け	(るのか)					5樗(結果の達	権成度を表す指標)	
地		合った学習を行								名称		単位
								\Rightarrow		学習を行う環境が整って	いると考えている市民の割合	%
								7	イ ウ			
(2)	総事	業費·指標等	手	単位	18年度	19年度	20年度		21年度	22年度	23年度	
-		の推和			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)	(見込)	(見込)	
	Į			千円								
	事》	ᆘᅩᄹ		千円				\dashv				
投	業費	その他		千円								
$ \Lambda $		ハ 一般財派 事業費計 (<i>i</i>		千円	3,917 3,917	4,151 4,151	3,58 3,58		3,916 3,916	3,800 3,800		
量	\vdash	尹 未貝引(77)	IIJ	3,317	4,101	3,30	J-T	3,310	3,000	3,900	
	l Ľ											
	$oxed{\mathbb{H}}$				3,917	4,151	3,58	2/1	3,916	3,800	3,900	
			ア	箇所	75	75		75	75	75		
	泪	動指標	1	箇所	27	27		27	27	27		
			ウマ	1	127 615	107 772	107 //	-0	120 202	120 640	120 060	
	対	才象指標	アイ	人	127,615	127,773	127,4	JU	128,383	128,640	128,868	
			ウ									
		#+2+m	ア	人冊	9,845	9,241	9,20		9,500	9,850		
	למ	t果指標	イウ	1111	43,693	38,927	40,30	JØ	45,000	46,000	47,000	
H			ア	%	29.4	26.4	31	.2	31	31	32	
	上位	Z成果指標	1			-						
1			ウ				Ī				I	Ī

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 図書館から遠方地の住民の読書への啓発・読書活動の広域化を図るため、移動図書館車を購入し、昭和43年に巡回を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併を機に巡回箇所を拡大した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民から巡回箇所を増やしてほしいという要望がある。

	事務事業名	移動図書館運	営事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館		
2	評価の部(SEE) * 政策体系との		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある【理	途中評価 由】 ▽	☑ 結びついている	【理由】	7		
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついつ	、? 意図すること	図書館から遠隔地にある地域 行うことは、市民の教養と文化・				することにより、図書資料の提供をく。		
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある 【理	申】之	☑ 妥当である 【理	申)之			
	達成する目的か?		図書館は、市民の教養と文化の業である。	の向上を図	るための学習支援を行う	重要な機	関であるので、市が実施すべき事		
価	対象・意図の姿	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	即之	☑ 適切である 【理	申プ			
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか		市民が欲しい情報を得られるように学習環境を整備する必要があることから、対象・意図は適切である。						
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由】 つ						
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	現在、75箇所を巡回しているか し、現在の車両、人員体制では				ので、成果の向上余地はある。しか 、人員の増がなければ難しい。		
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無【理由】 🖜		▶ 影響有 【その内	容] 🦜			
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		市民が、図書資料を通して、必	多要な情報を	を得ることができなくなる	0			
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)				
	目的を達成するには以外他に方法はない	は、この事務事業 いか?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🔽	連携できる	5 🕽 🗌 統廃合で	きない 🕤	✓ 連携できない 🕤		
	との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	他事務事業及び類似事業がた	C l l .					
-	事業費の削減	全地	✓ 他に手段がない 【理由一 削減余地がある 【理由		▼ 削減余地がない	【理由】	<u>5</u> .		
効率	成果を下げずに事美いか?(仕様や工法の協力など)	業費を削減できな		•	_		▼ 推持費である。現時点においてこれ		
性	人件費(延べ美 減余地	養務時間)の削	■ 削減余地がある 【理由	ر (ا	☑ 削減余地がない	【理由】	₽		
	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	事業に要する人件費について り、巡回箇所も増加している現)選書、積(み込み、運行、配本等を行ってお		
公平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	由] 🕏	☑ 公平・公正である	3 【理由】	₽		
性評		いか?受益者	移動図書館はすべての市民か	「利用可能 [・]	であるので、公平・公正で	である。			
	評価結果の総括の 1次評価者として) 【担当記 長り返り、反省点)	果長記入	#]		
	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶		~~~ ^				
	有効性 効率性	=	✓ 見直し余地あり✓ 効率的	で円滑な	事業執行ができているか	、運行体に	制の充実を検討する必要がある。		
(2)	公平性	☑ 適切	見直し余地あり 安) ・・・ 複数器 担司			1(4)	改革・改善による期待成果		
	□ 廃止 □ 休止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連打	▼ 事業の ■ 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		犬維持 通りで特に改革改善をし	(房	経止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加		
移	改革改善案 > 動図書館車両の追加						向 上 成 維 果 括 低 下		
)改革、改善を実現 動図書館車両の追加		すべき課題(壁)とその解決領 〒体制の充実						

事務事業評価シート

No).		事	務 郷:	土資料収集事業						部 教育部課 国分図書	
					きあうまちづくり						名 木佐木	
政策	策	施策名(会の充実					所属G(係		
体系	糸 .	基本事業名(<u> </u>					電話番	,	
			会計	<u>, </u>		事業	事業名		法令」製書館		5 .0 0	
		·算科目 -	一般	1 0	0 6 0 8 1	59025 3	郎土誌編纂					里に関する条例
事	务事	事業の概要(具		なやり	方、手順、詳細。	,期間限定複数	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	間
務臣	まけ	に関連する郷ニ	工質や	が以来	を行い、整理・保存	仔 9 る。					単年度のみ	
										la la	単年度繰返	
										•		H 18 年度~)
											, 期間限定複数	
		状把握の部(ロ										
		務事業の目的	ひ指	標					\7.4L1K1#	75 - W - W -		
		段(主な活動) <mark>度実績(20年</mark>	帝に	/ニュた	十 #>ミ千番カ ン				活動指標(事	<u>務事業の活動</u> 名称	加量を表す指標)	単位
		·及美線(20年 業の概要に同じ		11716.	工体/白勁/							
3.37	,, ,,	, X = 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1,							ア収集した資料	1点数		点
								_1				
21	1年	度計画(21年	度に	計画し	ている主な活動)		\Rightarrow	1			
		と同様				,		,	ウ			
				してい	るのか) * 人や目	自然資源等			対象指標(対		長す指標)	
霧昰	計市	の歴史、民俗、	文化					_	7	名称		単位
								\Rightarrow	<u>ア</u> イ			
									ゥ			
	意[図(この事業に	こよっ	て、対	象をどう変えるの)か)			成果指標(対	象における意	図の達成度を表	す指標)
					資料を収集・整理	・保存する		, k				単位
巾目	€₩	郷土に対する理	里解と	変看を)	米のる			\Rightarrow	ア収集した資料	1点数		点
								,	イ ウ			
	結	果(どんな結果	見に結	が付け	けるのか)				上位成果指標	悪(結果の達成	度を表す指標)	
		合った学習を行							名称 単位			
								\Rightarrow	ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合 %			
								7	イ ウ			
(2)	総	事業費·指標等	等	24 / 7	18年度	19年度	20年度	T		22年度	23年度	
` '		の推り	移	単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)	(見込)	(見込)	
		財工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	金	千円								
1	事	都道府県支 源 地方債		千円				-				
	事業費	内その他		千円								
投	質	一般財活		千円	270	184	20)8	188	188	188	
投入量			A)	千円	270	184	20)8	188	188	188	
	ļ							_				
	ŀ											
	 	-タルコスト(A) -	+ (B)	千円	270	184	20)8	188	188	188	
•		` '	ア	点	354	330	28		330	330	330	
	7	活動指標	1									
			ウ									
	-	対象指標	アイ									
	•	WI DE/SEL	ㅎ									
			ア	点	354	330	28	35	300	300	300	
	J		イ									
			ウア	%	29.4	26.4	31	2	31	31	32	
		位成果指標	イ	70	29.4	20.4	31	.∠	31	31	32	
			ウ									
		務事業の環境					7.64 75.1					
	- 0	り里経里業を	品好	,たき-	かけは何か?し	いつはどんなる	を始で開始さ	nt	のかり			

霧島市誕生に伴い、新市の郷土誌を刊行するため、平成18年度に開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

	事務事業名	郷土資料収集	事業	所属部	教育部	所属課	国分図書館	
2	評価の部(SEE) プ 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	途中評価 由】 →	☑ 結びついている	【理由】	₹	
1	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	、? 意図すること	散逸する郷土に関する資料を でき、地域に合った学習を行う			民の郷土I	・こ対する理解と愛着を深めることが	
的妥	公共関与の妥		▶️見直し余地がある 【理	曲】 🥏	☑ 妥当である 【理	由)之		
作王	なぜこの事業を市(町 ばならないのか?税 達成する目的か?	町)が行わなけれ 金を投入して、	市民の郷土に対する愛着と理	解を深め、	学習を行う環境を整備す	「ることは、	市の事業として必要である。	
	対象・意図の変	と 当性	■ 見直し余地がある 【理	甲】之	☑ 適切である 【理	即之		
	限定・拡充すべきか	?	深めることを意図することは妥	当である。			市民の郷土に対する理解と愛着を	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】	₽	
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	資料収集の方法を改善することにより、成果の向上が期待できる。					
有	廃止・休止の原	は果への影響	□影響無 【理由】 🞝		☑ 影響有 【その内	容] 🦜		
効性評	事務事業を廃止·休響の有無とその内容		統計的な地域情報は継続して 逸し、後世に引き継ぐことがで			ついては、	郷土の歴史的、文化的資料が散	
価	類似事業との終	統廃合·連携の		的な手段,	事務事業)			
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	以	連携できる	る 5	きない 🕤	□連携できない	
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。 が期待できるか?		他事務事業及び類似事業がな № 他に手段がない【理由					
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	【理由】	₯	
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		事業費は消耗品(資料、資料)	呆存用品)!	購入、製本代等であり、肖	削減の余均	也はない。	
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	▼ 削減余地がある 【理由	a) 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	₽	
		や委託でできな	郷土資料は広範囲な分野にまのやり方を改善することにより、	たがってま 業務時間の	87、収集等に関しては専 の削減は可能であるので	評門的な知 ₹、見直し0	i識等も必要とされる。しかし、業務 D検討を行う。	
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■見直し余地がある 【理	曲] 🤣	☑ 公平・公正である	」(理由)	Ð	
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	収集·整理·保存された郷土資 正である。	:料は、すべ	(ての市民が利用可能で	があり、後世	tに引き継がれていくので、公平·公	
			(次年度計画と予算への反		l) 【担当記 辰り返り、反省点)	長記入		
(1)	1次評価者として(目的妥当性	ル評価結果 ▽ 適切	(<u>2) ±</u> 厂 見直し余地あり <u>→</u>	. 14 総の方白(か	成り返り、及自思)			
	有効性	適切				業務のや	り方を改善し、効率よく収集作業が	
	効率性 公平性		✓ 見直し余地あり できる✓ 見直し余地あり	よりにものり	必要がある。			
(3)	今後の事業の方	句性(改革改善	案)···複数選択可				改革・改善による期待成果	
		▼ 事業 <i>0</i> 馬	つやり方改善(有効性改善) つやり方改善(効率性改善) つやり方改善(公平性改善)	(従来)	犬維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要)コスト削減 維持 増加向	
			図よく収集作業ができるようにす				上 成維 果 低 下	
	改革、改善を実現 報収集能力を高める!		すべき課題(壁)とその解決	策				
	rx 4x 来能力で向切る!	v:女(J`のる。						